

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	りんご並木育成事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	教育委員会	課等名	学校教育課		包含する細々目	1	10	3	2	10	7	1,500	
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり												
施策	22 義務教育の充実												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議									
		事業期間		年度～		年度							
					関連計画								
					条例等								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田東中学校	学校数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了した年度とする	
			1		1	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	りんご並木の管理育成の支援を行う	東中学校在校生徒で不足するりんご並木の育成に対し、支援できた率(%)	18目標	100	最終目標	
			18実績	100	19目標	↑
			23目標	100	23実績	最終目標達成年度
			18目標		最終目標	
		18実績		19目標	↑	
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	育成経費の負担金の支出 飯田東中学校が行うりんご並木の管理育成のため、りんご並木後援会を通じて必要な支援を行う。 <参考>細々目名:りんご並木後援会負担金	負担金をりんご並木後援会に交付し、地域団体等と協力しりんご並木の管理を支援する。	消毒防除(回数) 摘果剪定作業等(回数) アドバイザー委嘱数(人)	13 3 3
	18年度の実績			
	19年度計画	負担金をりんご並木後援会に交付し、地域団体等と協力しりんご並木の管理を支援する。	消毒防除(回数) 摘果剪定作業等(回数) アドバイザー委嘱数(人)	13 3 3

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	1,500	1,500
事業費計(A)	1,500	1,500	
人件費	正規職員所要時間	18年度 100	19年度 100
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	358	358
	トータルコストA+B	1,858	1,858

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	りんご並木の管理支援を行うことにより総合学習支援に結びつき、生きる力が付く。	総合学習活動を実施している学校数	現状値	29	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
後援会組織結成は昭和39年3月3日	飯田東中学校生徒数の減少。 飯田東中学校の生徒と、後援会でやってきた事業に、平成18年度から同学区の小学6年生が参加する試みを始めた。	

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていきますか？	(評価) 結びつく (その理由) 東中の生徒の活動を支援することにより、その活動の成果であるりんごのみの結実を体験させることができ、総合学習の重要な要素である達成感を味わうよるこびを生徒自身に実感させられる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由) 近隣住民を始めとする市民に対し、活動支援への参加を促すことにより総合学習の中に地域連携の効果を加えることができる
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由) りんご並木は飯田市のシンボルでもあることから、東中の生徒だけでなく、近隣小学校、近隣住民との協働による管理を検討する必要がある。		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 総合学習の模範事例とも言うべきこの活動への支援を中止・廃止することは、飯田東中学校の生徒への影響のみならず、市内他校へも悪影響を与える
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 当事業の主目的であるため、これ以外の意図は考えられない。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由) 市のシンボルであるりんご並木であり、長い歴史のある東中の活動が全国的にも評価されている状況を見ると、市の関与は不可欠である		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由) 事務局の事務は最小限のものであるが、事業費の大半は並木維持管理の消毒・剪定等の委託料である。
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 直接の受益者は飯田東中学校生徒であるが、市のシンボルであり、市道であり、市街地の中心である等多角的意味合いがあるため、受益者負担は不特定多数と考えられるため、現状の受益者非負担が妥当である

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <b>実施年度</b> <input type="text"/> <b>具体化</b>	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 近隣の児童生徒、住民に参加を呼びかける。(すでに呼びかけを行っている)
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がある	(2) 必要性な場合の実施事由	2- その他、必要が生じたとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	